

よいよ半島に入り真鶴港の魚市場前から貴船神社の側を通り琴浜でバスを降りた。一時少し過ぎていた。見れば磯料理正徳の玄関前、磯の香りが鼻をつく。さあ昼食だ。ここで拓山寿郎さんが合流。二階に席をとり海の景色が素晴らしい。料理が逐次運ばれる。焼物、鮪のぬた、さざえの壺焼き……、西村鏡次郎さんの音頭で健康を祝し乾杯した。この店の肩板料理は生きている最高の材料をその場で料理する活魚づくり。石鯛、はまち、平目、伊勢海老、あわびなどの活きづくりの大きな舟盛りが五つ程運ばれてくるとホーッと囁かれ皆の目が輝く。お酒も適当に入り食欲も弾む。最後は天ぷらで食事、たつぷり一時間の会食で皆さん満足気であった。食後玄関前に出て全員で記念撮影。

料亭を辞して再びバスに乗り原始林、サボテン園の脇を通って長島みかん園に到着、手提と鋏を借りて各自思い思いのみかん狩りにはしゃぎ廻っている。このみかんは水気がたつぷりで甘くて美味しい。目方買いでよいお土産が出来た。帰り車中で新鮮なままの干物をお土産として頂き、更に拓山

さんから皆さんといかの塩辛をお土産に追加され皆さんから盛大な拍手が起った。帰りの走行は至極順調で渋滞に遇うこともなく夕方五時に丸ビル前に無事帰着した。今日は終日好天に恵まれ心良い一日でした。手に一杯のお土産を持ち再会を約束して解散、皆様お疲れさまでした。(菅原記)

辰巳会秋季例会参加者名簿

荒木 従 縄 拓山 寿郎	荒木 従 縄 拓山 寿郎
小川 有 一 建立 清也	小川 有 一 建立 清也
上野 金 治 西川 明子	上野 金 治 西川 明子
請川 夫 人 西村 鏡次郎	請川 夫 人 西村 鏡次郎
小島 実 田 嶋内 桃枝	小島 実 田 嶋内 桃枝
加藤 福 雄 田 辺 満寿子	加藤 福 雄 田 辺 満寿子
大久保 潔 安 東 伴 者	大久保 潔 安 東 伴 者
田代 義 人 中 島 英 吉	田代 義 人 中 島 英 吉
同人 義 雄 以上二十四名	同人 義 雄 以上二十四名

物 故 者 名 簿

御 芳 名	死亡年月日	享年	最終勤務先
吉 太郎	62年 7月 23日	85才	浪華倉庫
三 増	62年 8月 7日	83才	船舶部
一 武	62年 8月 23日	89才	上海支店
三 孝	62年 8月 31日	87才	下関支店
重 輝	62年 9月 17日	94才	青島支店
正 茂	62年 10月 4日	80才	帝人、岩国
池 木	62年 10月 13日	91才	機械部
野 野	62年 11月 14日	83才	
青 佐	62年 11月 24日	86才	大日本塩業

辰巳会 員 便 り

六十二年秋叙勲受章者

勲二等旭日重光章

乙竹 虔三氏 (元帝人 会長)

小南 昶氏 (元神戸製鋼所 副社長)

勲三等旭日中綬章

岡本佐四郎氏 (帝人 社長)

藍綬褒章

植田 三男 (帝人 社長)

右記の方が受章されました。洵におめでたく心より御祝い申し上げます。

さて、私、第二十五回日豪経済合同委員会会議に出席のためオー

ストラリア・パース出張中に、体調を崩し、帰国後引続き入院療養致しました際は、お見舞いくださいまして誠に有難うございました。ご懇情のほど厚く御礼申し上げます。

幸い、順調に快方に向かい、十一月十四日無事退院致しました。今後は、正常復帰を目指して、暫らくの間静養に努める所存でございます。

昭和六十二年十一月二十五日

竹崎 浅吉

四国支部本年度の親睦会の中止について

年末近付き御多忙の御事と拝察致します。さて四国支部では毎年一回会員の親睦会を開きまして、いつも本部から出席していただいておりますが、本年は年末となり、時季としては不適當であり今日まで何とかもう少し早目に開催したいと考えておりましたけれど、都合により開催出来ないこととなりまして、誠に不本意乍ら本年は開催を見合せ来年気候の好い時季に早目に行き届いた会を開くことと致度し、何卒御諒承賜わり

度く御願ひ申し上げます。

昭和六十二年十一月三十日

松島 章三

謹啓

残暑厳しき折柄、日々ご健勝の段、大慶至極に存じます。日頃は雑誌「たつみ」を御恵送賜わり厚く御礼申し上げます。

最近家の片隅より次頁の書類が出て参りました。鈴木家勤統十五年の名簿と思われま。大正九年十二月二十二日の日付がございます。

昭和六十二年九月三日 松島誠の三男

岡田 静子

残暑なほ厳しき昨今、たつみ會長様始め御一同様益々御清祥にてお慶び申し上げます。

たつみ第四十七号御贈り賜わりありがたく御礼申し上げます。

封を切ると表紙は鈴木よね女史像があり思わず合掌いたしました。先ず亡夫の仏前に供えて拝見いたしました。

鈴木よね刀自五十回忌御法要不

参の事何卒あしからずお許し下さいませ。実はその頃私は右膝を痛め、歩行も出来ず正座も出来ず外科通いをして居りました。今もまだすっきりいたしません。

まことに盛大に厳肅に又和やかな御法要と拝察いたしました。御法要の御写真等じつと見つめて、姫百合会の代表者五名も列席なされ、又となき御倅せと存じます。

旧ロンドン支店長高畑誠一様邸の堂々たるお写真を拝見してさすが天下の鈴木商店、世界の鈴木商店のありし日を物語るものと存じました。昭和三十五年十月七日に始まり今日に至り日本各地名所旧跡をたずねて連綿とつづいている「たつみ」は名目こそ変われ

「辰 鈴木商店は鈴木よね刀自の御精神はびくともしなれと思っております。鈴木商店、たつみ萬歳と叫びたくります。

九十歳御長寿者のアンケートを拝見し実にすばらしい御生活とただく頭が下ります。御立派な事と感じ入りました。會長様始め、たつみ会御一同様の御健康をお祈りして御礼の御挨拶といたします。

八月二十八日